



The Friendship Force of Western Tokyo

No. 002

2002

Januarly



2001年の活動報告

3月29日～4月4日 キエフクラブ21名
(男性9、女性12) 受け入れ

3月29日 東京観光・見学

3月30日 東京観光・見学

3月31日 ウエルカムパーティー (小野路屋敷)

4月2日 町田国際協会主催行事参加

4月3日 箱根・富士五湖など観光・見学

5月25日 TFF日本大会 (仙台市)
(佐原、高垣参加)

5月26～28日 TFFアジア大会
(佐原、高垣参加)



7月20日 ブロック会議 西東京クラブ主催
東京クラブ・埼玉クラブ
西東京クラブ会員出席 (龍皇)

9月28日～10月1日 ニューキャッスル
クラブ27名 (男性11、女性16) 受け入れ

9月28日 東京都心観光・見学

オーストラリアの友人

石井 嗣代

世界大会で何度か会ったオーストラリアの友人から、日本に渡航で秋に行くんだけれど、一週だけで、初めての日本なのにもう少し留まりたい、何とかしてくれとメールが入ったのは二月ごろだったろうか。知っている弱味で何とかしてあげたくなり、佐原会長に相談した。「三泊位でよければ・・・」と言つてくださったので知らせたら大喜びの返事が来た。

10月28日つくし野の駅でバスから降りた人々はみな素朴な満面笑顔だった。ちょっと聞きなれない英語を話す人たちだが、楽しんで新しい友情を作る期待に満ちた表情だ。

私達はお泊めしたご夫婦が歴史学者だったので、江戸博物館にお連れした。65才以上はただだったので、とてもご機嫌になり、英語のボランティア解説を頼んで3時間余り熱心に見た後駅に向かった。両国駅でチケットを買う時私が10円を落とした、彼がすばやく拾おうとかがんんだら、なんと500円が落ちていたのだ。上機嫌が更にボルテージを上げたことはいうまでもない。楽しい時はちょっとのラッキーで最高潮になる。その後息子も引き合わせ、更に盛り上がって顔のしわが増えたのではと心配になるほどその日は笑った。

ウエルカムパーティ等、クラブ全体としての行動は時間的に取れなかつたが、それぞれがしっかり友情を育てたことは、バスの見送りを見てもあきらかだった。たまたま、来年西東京クラブの初めての渡航がオーストラリアだということで、ついでに寄ることは、彼らの頭に最初にインプットされてしまったようだ。来年ニューキャッスルで会おうねーと何度も念を押されてのお別れだった。さて、どんな渡航になることでしょう。



町田国際協会が1日デイホスト

櫻川 善一

市の外郭団体として三年前に発足した町田国際協会では、国際理解を市民に啓蒙したり、国際協力のNGOを援助したり、外国籍の住民に日本語を教えたり、生活相談に乗ったりしている。そのうち私が部会長をしている交流部会は外国籍市民との交流が目的で、日本の伝統文化の紹介セミナー、日本料理の会、市内見学バスツアー、交流サロンや交流パーティなどの催しが担当である。

西東京クラブの会長だった佐原勇さんには、副部会長としていろいろ補佐していただいた。アンバサダーを迎えてのウェルカム・パーティなどを開かれるご自宅が、私の家から近いこともあり、二年前にニュージーランドから一行が来たときに、フレンドシップ・フォースに早速入会して、我々と同年配のベイスン夫妻を受け入れた。この時は国際協会で茶道、華道、書道の紹介セミナーを開いて喜んでもらった。

「ドブリ・デーン（今日は）」

「ディヤークユ（ありがとう）」

ロシア語とは似ているようで少し違うウクライナ語、過去のいきさつもあってロシア語はあまり歓迎されない。全員キエフの企業や新聞社のエリート夫妻なのに、英語の片言ができる人は5~6人、今年の受け入れはウクライナから21名のアンバサダーである。

3月29日成田に到着、翌30日はかつてキエフのクラブにホームステイしたことのある東京クラブ有志の案内で、都内見物となったが最大の関心は秋葉原。

3月31日は町田市山奥の公園施設でウェルカム・パーティ、折角のバーべキューが桜に雪の奇怪な天候で停電騒ぎとなったものの、恐縮する完全主義の日本人を尻目に彼等は慣れているのか、平然として郷土芸能の獅子舞やお囃子に大喜び。4月1日はフリー行動でそれぞれのホスト任せ、ほとんどがデイズニーランドのあと、また秋葉原。

そして4月2日は町田国際協会がデイホスト、市会議長訪問、リサイクルセンター視察、東京新百景の一つである薬師池でのお花見のあと、市民フォーラムの大調理室で一緒に天麩羅を揚げながらの昼食会となった。日本に憧れと尊敬の念を抱いている人が多く、お箸も上手に操って茶碗蒸しも焼き込みご飯も上々の評判。しかし日本やアメリカのような健康志向は希薄で、ほとんどがスマーカーで野菜は苦手、「秋葉原詣で」が示すようにまだまだハングリーな国のように見受けられた。

翌日は全員揃って箱根観光、そして4月4日に羽田から次の訪問クラブの熊本へ、ウクライナでは入手不可能なハイテク製品をどっさり抱えて出発していった。

第一回 T.F.F.関東ブロック会議開催

2001年7月20日 佐原 泰子

平成13年7月20日 町田駅前のホテル・ザ・エルシーにて 初めての関東ブロック会議が開かれました。参加者は東京クラブ、埼玉クラブ、西東京クラブの3クラブ22名。

共通の話題として

- 会員募集については埼玉クラブより新聞の地方版にFF活動の様子を載せてもらうことが有効であること。
- 東京クラブは会員が多いので町田に近い人は西東京クラブへの参加を呼びかけてもらうこと。
- 受け入れ・渡航で人数が集まらないときはお互いに融通できるようにすること。

次期開催を2002年2月 東京クラブ主催で行う事を決め今回のブロック会議は無事終了。

支援委員会より

東京クラブ参加者

埼玉クラブ参加者

西東京クラブ参加者

石井嗣代

小林会長他7名

佐藤ゆきえ会長他6名

佐原泰子 石田 充

高垣 孝 村上トシ子

櫻川善一 守屋 孝

山本敏雄



韓国渡航中止の報告

10月5日からの韓国交歓旅行の為に半年以上前から、相手国の金京姫会長と連絡を取り合いソウルでの行動日程や宿泊先のマッチングリストまで準備し、渡航するだけになつて居ましたが、ニューヨークでの多発テロが世情を騒がした為、一部の会員の方から、この時期の飛行機による旅行は、出来ればキャンセルしたい旨の連絡がありました。そのため緊急役員会を開き、安全が確認されるまでの交換旅行は延期する事となりました。つきの機会には、是非とも又ご参加の程宜しくお願い申し上げます。

平成13年10月10日

TFF 西東京クラブ ED 守屋 孝

ソウルを訪問して

看国 充

10月5日より予定されていた南ソウルクラブへの訪問が、米国の同時多発テロによる影響で中止になったのは、誠に残念でした。

私達夫婦は仕事の関係で翌日の6日の出発となり、中止すれば高額なキャンセル料を取られる事から、予定通り訪問を実施しました。

主な観光・見学地は次の通りです。

6日(上) 仁川国際空港に到着後、金京姫会長、主人、長男と共に、空港(海を埋め立て造成)周辺のかつての島へ。自砂青松。

7日(日) 李鍾済さん(昨年高嶋さん宅に滞在)の案内でソウル市内の王朝時代の王宮を見学、他。吉い順から徳寿宮、昌徳宮と広大な庭園の秘園、景福宮。そして骨董品店等が並ぶ仁寺洞通り。

8日(月) 会長、主人、次男と共に。

利川と広州の世界陶磁器エキスポ。城壁と城門を残す南漢山城。オリンピック公園、総合運動場。ソウル・タワーで夜景の見物。

9日(火) 会長と主人に送られて、長距離バスで慶州へ。以降は割愛します。

南ソウルクラブの会員はソウル市内を流れる漢江の南に住んでいます。会長、李さんは申屠アパートに住み、申は広々としています。二人の自宅で頂いた韓国料理は、皿数も多く、とても美味。

豊かな歴史と文化の遺産と共に、新しさ、活力を持つ街ソウル。私達はそこで素晴らしい時を過ごすことが出来ました。

次のソウルへの渡航の機会に、皆様が韓国の魅力を発見され、南ソウルクラブ会員との友好を深められることを希望します。



本企画はソウルにてアートセミナーと題して開催され、多くのアーティストたちが参加しました。また、アーティストたちがソウルの街を歩き、アート作品を設置する「アートストリート」も実現されました。アーティストたちは、ソウルの文化や歴史、自然などを題材に、個性的なアート作品を创作しました。また、アーティストたちの交流や、アート作品に対する反響も盛り上がり、ソウルのアートシーンが注目されるようになりました。

第15回日本大会、第18回アジア太平洋

地域会議に参加して 高垣 孝

去る2001年5月26日、27日にFF日本大会、27日～29日まで、FFアジア太平洋地域会議が仙台国際ホテルで開かれましたので、簡単にご報告します。

まず日本大会は、FFI本部からChip Carter会長、Debbi Powellさん(アジア担当)も出席され、総勢132名の方々が全国から集まりました。クラブ運営や、受入れ・渡航の選定方法、各クラブ報告等について活発な質疑応答、意見交換がなされました。

主な質疑応答事項から抜粋すると、

① 会員のリクルート(特に若い人達)に苦労したり、会費の徴収に苦労しているクラブが多いことがわかりましたが、やはり決め手は日頃からのPR活動のようです。

② 渡航・受入れの成功例・失敗例を求める声がありました。日本大会、アジア太平洋地域会議、世界大会に出ることや、各クラブのホームページを見ることで、ある程度解決できると思われます。

③ 交換の決定方法についての質問がありましたが、FFIとしては世界各国のクラブからの要望に対して、過去の交換履歴を重視することです。特に一度受入れしたクラブを渡航希望すれば優先することや、日本からは特に欧州のクラブへの渡航希望が圧倒的に多いので、その他の国のクラブを渡航希望すれば、マッチングする確立は高いとのことです。また事前に相手クラブと根回しして、交換希望をFFIに提出しておくのも、マッチングに有利になるようです。

④ FFの通信手段としてインターネット活用が不可欠ですが、公式なメーリングリストやホームページのルール作りが必要との意見があり、当面活動支援委員会と現在日本のメーリングリストを管理している郡山クラブを中心に今後のルール作りを含めて、インターネットの運用を考えて行くことになりました。

続いて5月27日からのアジア太平洋地域会議は、アジア太平洋地域から40名、日本から115名の参加者があり、特に台湾から、27名もの参加者があり、前回台中で開かれたアジアパシフィック会議の台湾各クラブの熱気がそのまま伝わってくるようでした。

初日のウェルカムパーティでは、久しぶりにアジアの同胞と再会でき、交流を深めることができました。特に2001年11月に世界大会を開くタイの代表からも熱心なPRのスピーチがあり、一同

すっかりその気になっていたのですが、後日談になりますが、9月の米国の同時多発テロ事件のため、世界大会参加を見合せた方が多かったのは残念でした。

2日目、3日目は、全体会議、各国クラブレポート、松島観光等のイベントがあり、そのあとアジア各国の参加者は宮城クラブへホームステイし、盛会のうちに閉幕しました。

尚、2002年の日本大会は三重県津市で5月25日、26日、アジア太平洋地域会議は韓国で、5月13日～15日に開かれる予定です。

以上、簡単にご報告させていただきましたが、内外の他クラブのFF活動を知り、今後の我クラブの渡航・受入れの参考とする上で、是非日本大会やアジア太平洋地域会議へ出席されること(誰でも参加は自由)をお勧めしたいと思います。



2002年の主な対外行事

5月25日(土)～26日(日) 日本大会

三重クラブ主催 津市

5月13日(月)～15日(水) アジア環太平洋大会

南ソウルクラブ主催 ソウル市

～17日(金) 済州島観光

7月16日(火)～23日(火) キプロスクラブ

受け入れ 愛知クラブへ

10月5日(土)～オーストラリア 渡航

～12日(土) マレーブリッジクラブ訪問

～14日(月) ニューキャッスルクラブ訪問

(ニューキャッスルクラブは昨年9月に当クラブを訪問)

15日(月) シドニー経由 帰国

大会への参加の希望は会長宛にお願いします。

渡航と受け入れの詳細については、改めてご案内します。

編集発行：ザ・フレンドシップフォース・西東京

事務局： 東京都町田市つくし野4-13-3

佐原泰子

TEL: 042-795-2245 FAX: 042-795-4022